

大牟田市立米生中学校

1 本校のESDの特徴

本校区は、大牟田市内でも高齢化率の高い地域であり、「誰もが安心して住めるまちづくり」を目指して様々な取り組みがなされており、本校との交流も盛んです。隣には、大牟田特別支援学校が位置し、昭和56年より年4回の交流を続けています。

また、7月5日に世界文化遺産に登録が決定された、「明治日本の産業革命遺産」の構成資産のひとつ『宮原坑』『三池炭鉱専用鉄道敷跡』が、すぐそばにあります。

このような地域遺産に恵まれた環境において、地域と密接につながり、3年間を通した総合的な学習の時間（米生タイム）を中心に、『地域と共に生きる学習 ～福祉・世界遺産学習を軸に～』をテーマに、「将来への見通しを持って、自ら考え行動できる生徒の育成に取り組んでいます。

2 ユネスコスクールとしての活動・全体計画

『地域と共に生きる学習 ～福祉・世界遺産学習を軸に～』			
4月 総合的な学習の時間及びESDについてのガイダンス			
学年	福祉にかかわる学習	世界遺産にかかわる学習	生き方にかかわる学習
1年	特別支援学校との交流 七夕飾り交流・七夕交流 わくわく交流・クリスマス交流 認知症学習 ・絵本教室	地域の宝ものを 世界遺産へ！ 「宮原坑」 「三池炭鉱専用鉄道敷跡」	いろいろな職業 職業調べ
2年	福祉施設・保育園での実習	伝統文化・世界遺産学習 (修学旅行：京都自主研修)	職場体験 上級学校調べ
3年	独居高齢者宅訪問 保育実習	地域の宝ものを発信しよう！	適切な自己アピール
行事 その他	・地域行事への参加(カップ祭り, そうめん流しなど) ・読み聞かせ ・餅つき ・地域との協働作業(通学路除草作業・年2回) ・体育会、合唱コンクールへの地域招待(福祉施設・高齢者・幼稚園児招待)		

3 特徴的な活動事例

< 1年生 総合的な学習の時間 単元名 世界遺産学習

「私達の『地域の宝もの』を世界遺産へ！」 >

(1) 目標

地域遺産「宮原坑」「三池炭鉱専用鉄道敷跡」に関心を深め、その価値を学習し地域とのかかわりを深めることによって、地域の良さに気づき、自分や地域の将来を考え行動できる。(有限性・連携性・責任性)

(2) 実践の展開

①知る<学習1>世界遺産とは

ア 「地域の宝もの」について、各小学校で学習したことを発表し交流した。

イ 世界遺産の基礎知識学習

<学習2>世界文化遺産『明治日本の産業革命遺産と大牟田の近代産業遺産』を学ぼう！

ア GTの解説による、現地見学、学習のまとめをポスターにまとめ、地域・保護者へ発信

②深める<学習3>地域の宝もの『世界文化遺産「宮原坑」「三池炭鉱専用鉄道敷跡』をもっと深く知ろう！

ア 地域や関係者へのインタビュー、情報収集・整理・分析

- ・人々の思いや願いを深く感じる
- ・地域遺産の価値を再確認

イ 地域遺産について考えを高め合い、課題をつかむ

③広げる<学習4>地域の宝ものを世界へ！

ア 自分達にできることを考え、行動する。

- ・発信プロジェクトの企画・運営(僕らの世界遺産写真展)

イ 学習の振り返り 新たな課題の発見



(3) 生徒達の様子

GTによる学習や地域等にインタビューするなど「かかわり・つながり」を深める学習を工夫したことで、世界遺産としての価値を理解し、人々の思いや願いを深く感じることができた。「自分達が今こんなに豊かに楽しく生活できていることに感謝したい。」と感想を書いていた生徒も多くいた。

そして、世界遺産になった『宮原坑』や人々の思いや願いを世界の人々に伝えたい。」とプロジェクトを考え積極的に取り組むなど意欲的な姿勢がみられるようになった。

4 本年度の成果と課題

○成果

- ・地域との「かかわり・つながり」が広がり、深まった。そして地域の方々の思いや願いを大切につないでいきたいと、主体的に考え行動しようとする姿がみられるようになった。
- ・地域遺産を世界遺産として学習することによって、地域に対して誇りをもち、地域のために何かしたいという意欲がみられるようになった。

○課題

- ・3年間を見通した、世界遺産を教材とした学習展開の工夫。
- ・ESDで目指す生徒の姿を明確にし、地域との「かかわり・つながり」を深める学習の工夫と育てたい力の具体化。